

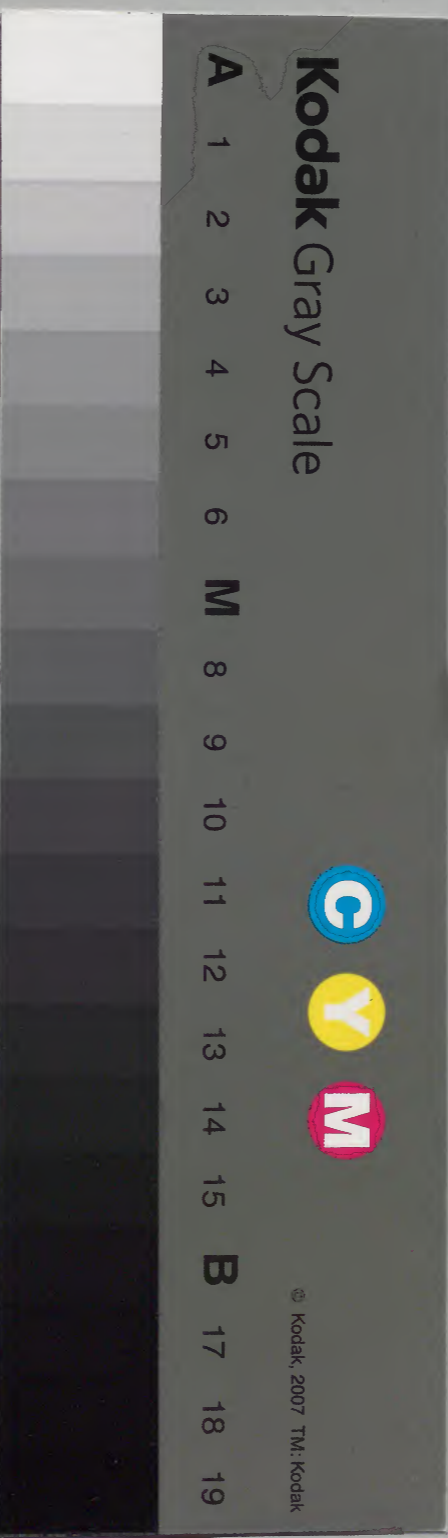
唐土割蒙圖彙

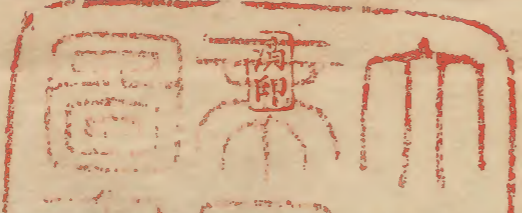
庫文閣內		和
一四函	一一一	
二三架	一三四	書類

庫文官政大		和
一五冊	一一一	
一〇架	二三四	書門

內閣文庫	
番號	和 11134
冊數	15 (13)
函號	184 360

典故





唐土訓蒙園彙卷之十二

明治二十二年講求

木 下

草木

龍鬚菜 海中

石生て縋乃
水と洗ひ白
治瘡石を菜の
れふ水で白く

鷓鴣菜 海石

のうま生は小兒
の痲病に用は
い
古書云不うのじ
和倍其葉と同く
芝一初生る葉の

和名

和名



此部ハ水菜毒湿雜苞灌果寓
喬之州木のて

澤瀉

浅みの中に
葉牛の舌
似り莖長
花黄

大藕兒 根ハ

藕の加して小
黄熟して合り
枝葉食へ



燕子花 水沢

又白もあま
ひて燕子花
和名カキツバタ

浮蕎麥

入て生れ六七月に
晒乾し一舟の泡
塩醃ニ拌食ふ
生も亦一

牛尾温

の中生れ葉ハ
髪ノ如ク甚ハ藻
の冬月魚
和して煮食ふ
夏秋一



眼子菜 六七

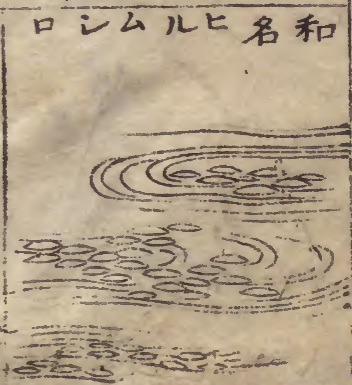
月より水沢乃
中に生れ葉表
柔滑うて細長
秋入り湯ニ焯
晒乾し醃醬に
拌てらる一

燈鷲兒

これより洗ひ
うすめ香油板
塩に炒て
うろを一

水菜

田に生れ狀白
菜に類と香油
板塩うろをせ
くら一



我鳥兒腸 地

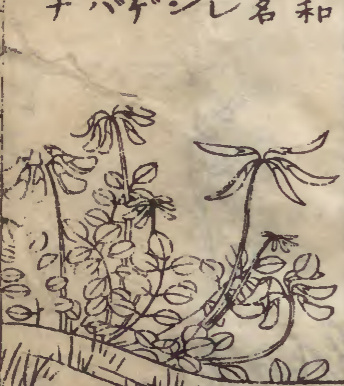
就て叢生して
長以葉對
葉生凡葉間分
て枝と生一白
花と用く苗葉
食一

地瓜兒

苗の
高二尺餘莖方に
四稜あり葉薄
花に似て微長
苗根とも

碎米薺

多し葉をを
ひく白むれ
つて小葉のり
わきひく一
合一瓜を人



苜蓿 二月

苗と生れ一叢
数十莖夏及ひ
秋入て細黄
花と用く小莢
と結て實あり

蕺菜

湿地に生れ
蔓生うて莖
葉紫赤色葉
乃形喬木の如
うて微少

牻牛兒

の中に生れ莖
細弱に紫葉
五瓣の小葉と
のさ莖葉と結
上は葉わろそ細



生肌菜 苗長

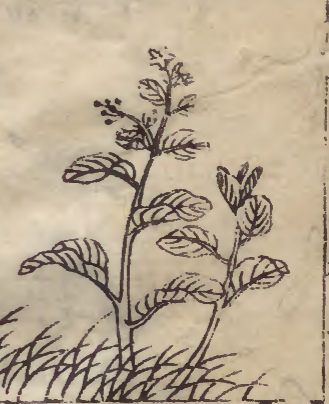
一、二、三、四寸夏の家
白花と開く細
葉と滑り其味
生肌の氣は

磨菰草 桑猪

一本用草 難肥
小株あり
菰と生肌形は大

雷聲菌 夏秋

雷の後の後州
中に生肌菌類
のくく味も亦
お似



大菁 春初

苗と生肌 苧麻
似て根ハ芋乃
四月末

附子 烏頭

天雄附子 側子
四品都てこれ一
種苗の高三四尺
以米莖四稜葉
艾の如く紫葉
色あり

牙子 昂

狼牙 苗地合
に似くわく大
二條綠色根黒
して戦の歯牙
の如く一かく



狼毒 苗葉

高陸及大茨に
似り莖の上り
毛あり四月末
いらさ八月末
と結ぶ

葭若子 苗莖

高二三尺葉地茨
に似り四月末
と開く紫色あり
莖に白毛あり
五月末と結ぶ

烟草 一名

相思草 又淡婆
茹とつて朝鮮
人南草と名つ
煙花 烟酒 擔
不帰といふし



茵芋 苗長

一、二、三、四尺莖
赤系石楠
似て短く直又
石楠に似り四月
細葉と開くし

大戟 春お

芽と生一長して
叢と成る一
入ころ葉初生
の柳に似り三
四月末はむを
いらく

續隨子 苗ハ

大戟の如く花も
葉中に幹と
抽く実とあり
実らにあり



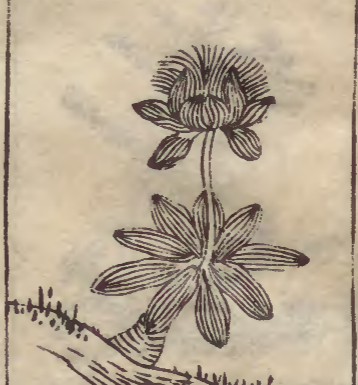
鬼臼 一葉ハ

莖と生け莖陽の
一葉二兩岐ありて
年一に一莖とま
莖枯て一白とあり
花赤色莖ちかり



及虫休 苗葉

王孫鬼臼に似たり
六月花紫白色と
用く莖赤黄色
上金線ありく
下金線あり



海芋 苗と
生けて高四五尺
大葉芋の如く莖
と抽てむと用く
辨蓮の如く碧
色し 大毒あり



防茅 葉ハ

莖に似て莖とに
三葉一かた莖
わり中に一幹有
其湯まらと用
て葱の如く白



蘭 苗葉

大戟に似て花紫
色根蘿蔔の
如く皮黄肉白
初時汁出て
強て漆の如く



坐拿草 六月

紫花に似たり
実と括 其苗
ととりて打撲
の傷と治り



土紅山 一高

七八尺葉枇杷
に似て毛け
秋白たると生け
栗粒の如く



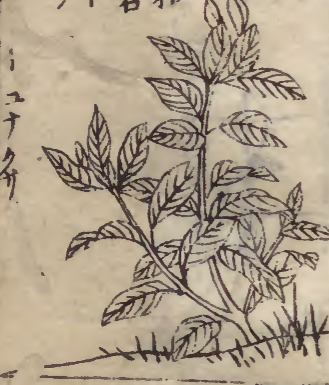
攀倒甌 莖

春夏葉の如し
研搗て冷め
に浸し汁を
絞り後熱
煎て煩渴と治



葛 麻 一花の

毒と解け
いと大毒あり
人し後てれ
吐利やまに



水茸草 春苗

と生け莖青色
葉楊柳の如く
水際まはれむ
六月八月



甘遂 苗ハ

澤漆に似て莖
短小く葉に
汁わり根皮赤
く肉白く又草
莖麻の如く



芫花 二月

皮を搗て赤
腫に大毒あり



半夏 二月

苗と生一茎一
柄三葉浅緑色
類竹葉細く
光り一種半
眠半夏あり



瓊田草 春苗
葉と生一花
三月根葉
とより五月福
の土人風病を
治り



曼陀羅 高二

三尺綠莖碧葉
八月白花開
狀牽牛二似
大し實と結て
圓なり



雞項草 葉ハ
紅花の如く葉
柄あり根ハ小
蘿蔔に似く
枝條直にのり
三四月実を
生り



劉寄奴 系ハ

蒲公英のこゝむ葉
なり又一種柳葉
のこゝりありは葉
とよりその汁を
薑具の生臘脂と保
じと煮るとよめこ
いましく血とむ



野蘭根 叢
生して向さ二
尺ころ四時葉
あり花を
その根とむ

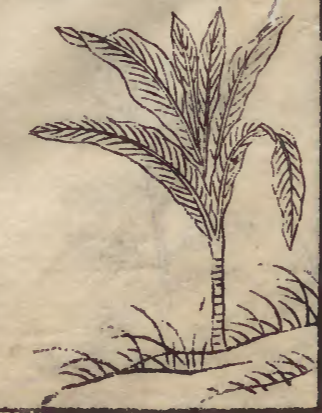


半天回 春苗

と生一高二尺餘
赤斑色冬
至て苗葉これ
枯る夏月
これとむ



半邊山 葉ハ
苦蕒に似厚
根白木一似
軟なり一八九
月一ねとむ



兔兒傘 荒地

の巾に生れその
苗さ二三人株
莖出て葉を
生れ傘蓋の狀
乃とむ淡白
あり



小兒群 叢
生高さ一尺と
春夏生長して
花を冬枯
其根とむ用也



蘭蒿 苗高

二尺餘莖幹艾
に似て葉細長
鋸齒し葉莖
と布に生れ苗
葉とむ食へ



菩薩州 江浙
近京にあり一
名尺二と名
其汁とぬ
其汁とぬ



野落離 二三

月子嫩葉より
湯に煮て過
して塩醋と和
してらる



百乳草 莖

葉俱にまろく
松葉の如く
なり三月と苗と
生し四月と長
に



建水州 枝葉

桑に似て四時常
にわら 福列し
出つ土人葉
より焙乾ま
たして用也



催風使 天台

山中に生る苗
葉冬夏常に
まろし其葉と
して薬入る



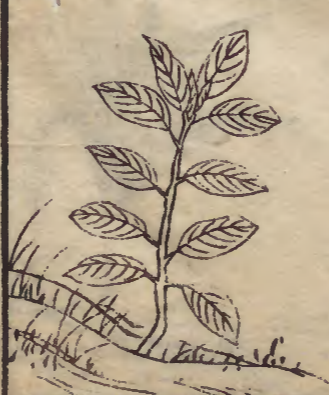
藜藜 三月

苗と生し葉初
出る椽心より
莖ハ葱に似て白
青色上に蒸皮
わり栗の莖椽
皮にたはる色し



百藥祖 天台

山中に生る苗
葉冬夏常に
まろし土人その
葉と冬とつ



露筋草 春苗

と生し随てむ
と用さしと結ぶ
四時潤す其
子碧色とろり
時なり



獨脚仙 春苗

と生し秋冬し
至て葉落つ其
葉圓し五月
下葉其脚四
五寸夏根葉と



石道遥 冬夏

常より花を
実も亦多し其
常州より
とらに時



大木皮 其高

下大小皮あり
四時葉ありて
花を其皮
と用也



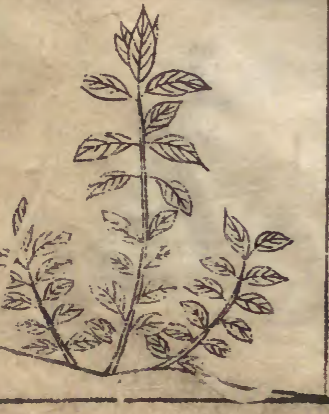
百兩金 苗の

高三三尺幹わり
て木乃加く冬凋
す其葉其面俱
にまろし花実と
結て後背葉に
花碧色実黒



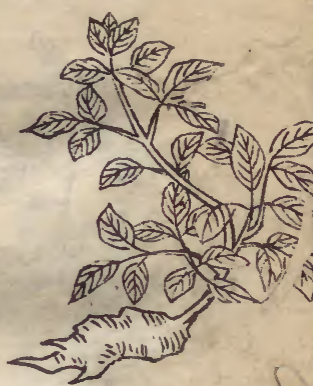
烏藍 鳥ハ

大なり村人大
と呼ぶ鳥とん
此菜但宜く
熟食す



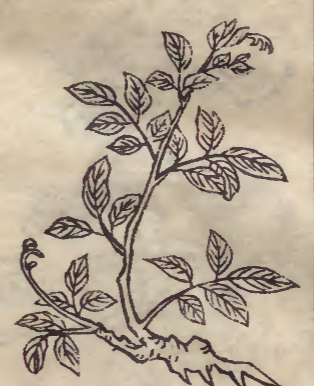
都管草 苗生

一丈二尺人より葉
土當飯二似根
毛活二似二
八月二根とら



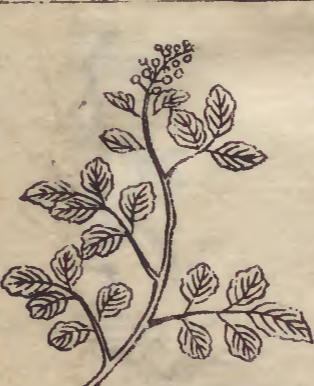
黄燎郎 天台

山中に生れ苗
葉冬夏常に
青一土人其根
ととり葉入り
入



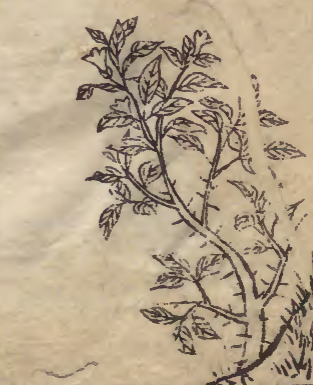
黄花草 春

三月葉と生一
三月に至てむ
あり 棘菜花
二似、葉色
秋実と造ふ



刺虎 葉

冬と凌て凋と
なりとりに時
あり根葉枝幹
ともに用ひ



芥心草 蔓

生うて白色
根ハ黄色四月
苗葉ととり
もちめ



苦介子 苗

高一尺とら枝
葉葉青青色
葉柳の
白花と無く
葉二似り乃
子ハ黒色



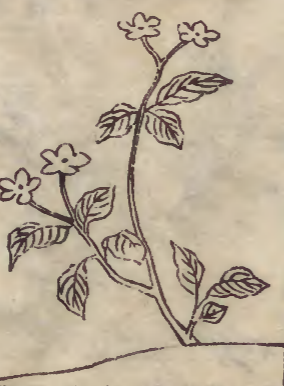
無心草 三月

花と開き五月
実とむす小六
七月二根と
とりらゆ



茆質派 葉

多く花白し七
月二より信弱
の土人とりと
風腫と治れ



鷹爪 花葉

色末鋭て葉の
似二似二
柳二樹ハ連竟
二似二小樹ナリ
心開て香し



布里州 葉

高三四尺葉ハ
杏に似て大
夏の花さうけ
して 実が



紫金牛 葉ハ

茶の如く上緑に
下紫二實圓く
紅うて丹朱
の二根ハ微
紫色色



子午花 一名

赤く夏に入
開く必日午
いりて



胡蘆州 枝葉

小蘆に似く丸葉
一枝七葉丸三葉
出つ苗之れく
標へ俗葉と
同熟丸と丸

其處何人

園中多うの
葉茂く丸く
毛の毛わり
根は附子とく

石棗兒 野圃

多く生れ葉々
葉は似て冬も凋
ま根は水仙の
て飢へつとく
類され温風



杜蘆山 其苗

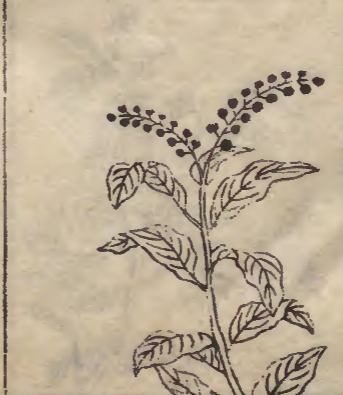
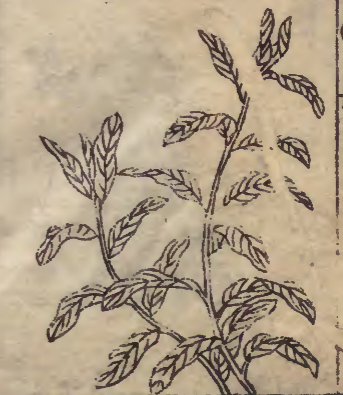
高四五尺葉ハ
苦蕒菜に似
り秋紫む
と用く実拘杞
のく丸なり

蕪澄加 春夏

葉と生一青滑
て梧桐子に似
り八九月
とく

夾李花 小

と繁おほし
麥熟して實
食へ



望江南 苗の

ささ二三人なり
葉極多うく
肥大し葉と
ひれ角とひ
す小三寸作し

白屈菜 田腔

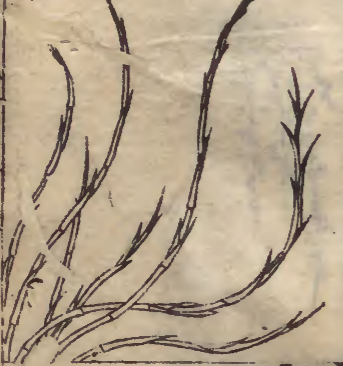
み生れ苗のささ
二三人葉葉白
色莖毛刺あり
稍茂く又と分
葉とひらく
紫山山葉と似

科藤 蔓

抽て地と被く枝葉
竹皮のしと粗しか
つて藤の長敷丈
剪伐され敷重と
纏へて今が
細くつとと

和名タイキ

和名サノヲ



竹蓐

の液とて鹿
よつて生れ鹿
肉のく白く
らふべし又竹
は付てしと

雷丸 竹の

葉に紫くつら
かり丸のく
圓くして皮黒
肉白く

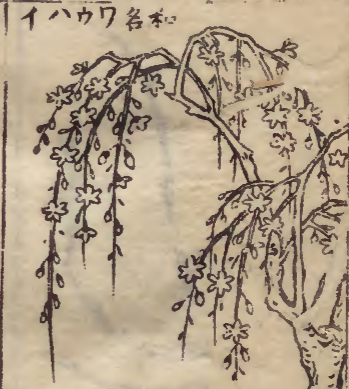
夾竹桃 花ハ

桃のく葉ハ竹
乃ぬし終る花
はく然も湿と
いづくを畏る
陽也



迎春花 臘月

黄花を用く根
枝より熟て生
くはこして
うくはくはり
ををしつ



笑靨花 木の
高四五尺くり
春花を用く小
細うて粉米
のこ



金絲桃 柵の

如くして心よ美
髪わりて花介
に浦敷く
金糸の如くこ



郁李 木の
高五六尺枝葉
皆季の如く惟
子小く梅桃乃
如く赤く味酸

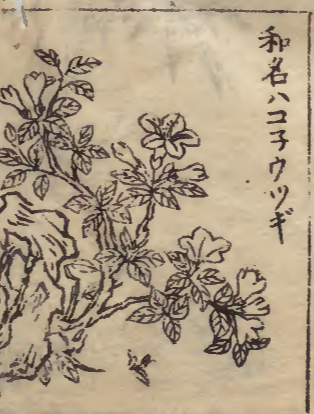


木香花 三種

わり笑白此三
花とよ
糕
はる



錦帯花 蔓
蕾の形小淡乃
形れく色粉
紅うて嬌なり
是と屏を
植て玩しは



刺桐花 葉ハ

野苗の如く
茎子刺多し
花ハ玫瑰の如
香



茶藨花 蔓
身より葉青く
刺多し花用て
香微く清



玫瑰 花ハ

蕾微く似て枝
刺多し花白
氣わり四月
いらく糕とん



金櫻子 叢
生苗微く形
刺わり四月白
と用く秋子と結
子も赤刺わり
形極細く似り



寶相花 蕾微

子較くは乃赤大
く七千瓣心
とつうく大紅
粉色の二種
わり



波斯菊 一名
西番菊 甚く
久うくを乃
子把上つて
再生し復も



和名ニハコナ

和名ハニナ

和名ニハコナ

和名ニハコナ

和名ニハコナ

和名ニハコナ

木綿 樹の

大に抱く... 葉は

吉利子樹 葉は

木半夏 樹の

酸束木 其木

高敬丈 樹圍一

山菜萹 木の

高丈餘葉ハ 樹

蔓荊 高

四五尺 葉ハ



唐五洲 卷三十一

賣木子 株

の高五七尺 春嫩

播櫻 二木

珊瑚 葉ハ

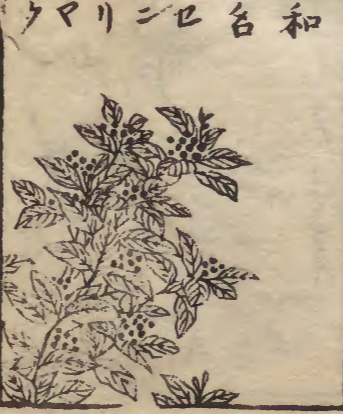
蠟梅 臘月

文冠花 樹の

高丈餘葉ハ 冬

蜜虫家 木の

背白色毛ワ



和名ナニナキ

和名イヌダラ

櫻桃

木葉
とらるくを有と
るふら葉をこく
うに一実を
一ハ枚と萬
年枝と似
凍きの類し

橙

樹
楸に似て葉大
其形橘より大
して香あり實
久しくあふ人
家園中

檳櫚

林檎
の類かり実大
梅ルニ木凡とい
みれを念一製
して代用する
功あり人の考
とまり

無花果

山梨
人家の園中
うの葉の形葡萄
菊に似て長く硬
くする枝葉の間
果とて初ハ
熟して初ハ
色ハ紫赤と
し

龍芳加

三月
小白むとひらく
実交熟は肉味
粘眼と目

櫻桃

樹ハ
さうく春神自
花と開て葉の如
みと一枚とむす
数十顆熟く
お
並接するにわりの
す人の考とまり



棠梨子 三月
花と開く白
随て實と結
其味酸く
澁く



棠梨 葉ハ
蒼木に似たり
花白く実と結
て小棟子の如
くして
大なり



醋林子 其木
高丈約枝條
とらる三月花
とひらく白
四いらに九月
実とむす



菴摩勒 木の
高三丈枝條甚
軟かに葉まろ細
密朝し開る暮
に飲つ三月花
開て粟米のし



椰子 木ハ
祝棉に似て高
数丈子木末
わり大く枝間
鈍の如く枝間
に密に



欝榔 木乃
高五七丈正直
して枝カ皮
青桐に似たり葉
木顛に生に其
實三つとあり



罌子桐 花葉
くもは樹類
實の味甘し
吐きひ多く植
波とれて利あり



藤黃 樹と
海藤と名はく
真臘の人刀と
以て枝と研を汁
をとりおす
今畫家ニ用は藤
シロウコシナリ



波羅得 或云
白木のわりの波
とらばはよわら
らぬなりと
拙業スニ此説非ず
今江州ニアルモ人即
豐子桐ナリ波羅木
ヲ本州ニテ考ルニ
白木ニアラス此三圖
ヲ考テ江加ヨリ
未テウニス生シマス
クレテ油ヲトル利あり



沒藥 樹
攪りゆる木の
膏液結ひ
塊とらるる
盧會 波斯
國に出つ令廣加
より来り者あり
其木よりし
脂液の滴りて
なる取を採
に時月ナリ



波西維蜜 樹の
高五六丈冬凋すに
花をく実なり枝
間生はた冬冬似
のくくその皮を栗
越わり五六月熟す
附重さ五六斤肉は
かりて櫛のく餅
につのく

血竭樹 木乃
高数丈葉ハ梅
柳似三角
其脂液木中
より流ち滴膠
の如く久くして
藥とゆりて



菌桂 葉細
三節あり花洋あり
白ニ色ニ葉鋸
して批把葉の如
かり又葉乃
柄に似たりあり
必し所ニあり



阿魏 西蕃
及び崑崙山ニ生つ
或云は脂を毒を
こす附羊と樹ト
よりけてききり粉
々の脂ニ生つ
死於是との魏を
今ハ産るより出
まるとせりて餅と
かしてつらうといふ



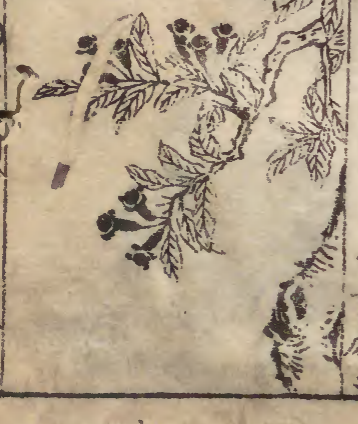
月桂 葉桂
乃て皮を剥き
香熱くくもの
花は赤色一つ
を湯煮し
乃て油をとり
天竺桂 桂心ナリ



龍腦香 漆律
樹といつる木中の
脂白松脂に似
杉の木れを製を
なり



丁香 木の
乃て皮を剥き
細葉色
子枝葉の上
に出て銀色に
なり



側柏 葉側ひよと以て
名よは三月むと
いらくま実と様
圓葉片とやん
ものおとふつへ

沉香 木に
節多く葉楸ふ
似て花白く子ハ
檳榔に似て大
桑の如く水う
沉ものの上と
降真香

番国より川香
甘藷方木は似て
是は諸香を和
焼ハ鶴と感
神と降は

扶移 江南
山谷子生に樹大
枝十圍わり風無
して葉うみけり
詩経に滑唐棣
之華あまなり

蘓方木 樹ハ
根は形とむ黄
子黒く
山人
絳色と
浮心

杜仲 木の
高数丈葉率
葉の如く厚
子葉はこれを
乃て内は白絲
と出ん

和名スワウ



橙 二種
わり一種は葉
して榛に似たり
小田崎にて民
用し利あり

茶梅 白と
粉おとの二種あり
土月むく用て
久しく而して
世ニ山茶花と云
るニリ山茶花ハ
和ニツギナリ

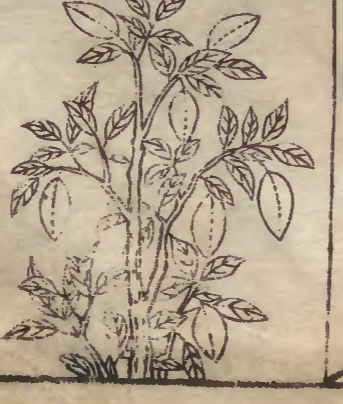
海桐 葉ハ
手の大乃加皮
棒の如く白皮に
して堅く繩と
して用てまて今
桐まて

鳥藥 葉微
圓して尖て三
角と云る面青く
背白く五月
黄白の細むと開
六月実と結ぶ

橄欖 木ハ
木穂は似て
秋の晩に實を
家説に其木
と橄として換
魚皆浮出ると

楸樹 木
大小わり大なりハ
琴瑟に似たり
葉ハ楸樹に似て
白むとひらく
和名ヒサキ

和名ヒサキ





新木麩 樹ハ

梳櫛子似、葉離披、油衣の状、木皮は、白粉多

蜀山人、新麩、人

鳥楠木 樹の

色漆黒、體重堅、綴、葉とあて

性毒と解、小斑點あり、皮厚

山桃、似、り、木、小斑點あり、皮厚、く、軟柔し、皮匠、家、用て、鞆の裏



和名コクタン



相思子 樹の

子似て、大、餘葉、似、て、花、は、葉、より、子、あり、半、截、豆、と、根、香、と、収、れ、と、乾、り、

巴豆 木の

高三丈、葉、梅、桃、の、如、く、て、厚、く、大、し、四、月、を、発、て、五、六、月、實、と、結、ぶ

大風子 大樹の子状、柳子、ま、しく、み、し、圓、ち、り、其、中、に、核、あり、數、十、枚、中、の、白、色、二、し、く、ま、り、と、は、る



和名タウツキ



猪苓 土乃

底、生、皮、黒、く、塊、と、な、り、形、猪、糞、に、似、ら、ぬ、也、一、名、地、名、桃、

烏桃

新木麩 樹ハ

似、て、葉、黄、色、皮、肉、相、似、て、七、八、月、實、熟、す、り、め、し、と、り、し



苓猪



和名カレノキ

樺 樹大

高く、葉、柳、樹、の、お、ろ、く、葉、ハ、樟、に、似、て、狭、長、し、冬、に、葉、お、紫、を、と、り、お、家、の、類、ま、つ、り、と、り、り、佳、を、り

楠 樹大

小、て、葉、桑、の、ハ、其、材、性、堅、し、て、水、子、希、つ、り、故、に、船、を、造、つ、木、く、く、久、し、て、石、と、な、り、お、あり



和名ケマキ



